ロングモント市・茅野市姉妹都市交流事業 ～世界と出会い、成長する心と友情の絆～



今年度も、アメリカ合衆国コロラド州ロングモント市への派遣を実施しました。派遣生は現地での学校訪問やホームステイ、文化体験を通して、多くのことを学び、感じ、新たな発見や友人と出会いました。

交流プログラム

日程	7/16～7/26 ロングモント団を茅野市に受入れ（保育園・学校交流、日本文化体験、市内見学 等） 7/26～8/5 茅野市派遣団　ロングモント市に滞在
茅野市派遣団	中高生8名（中学生3、高校生5）、引率者2名

ロングモント市ってこんなところ！

★自然豊かで活気あふれる美しい街
★人口は約10万人
★標高はだいたい1,500m
★街のどこからでもロッキー山脈が一望できる



バスが遅延した際、アメリカ、日本、メキシコの学生たちがバス停で一緒に昼食を取ったり、飲み物を分け合ったりして自然と打ち解けていきました。

― この体験を通して成長した子どもたちの思い ―

「自分らしく」でいい　― ホストシスターから学んだ大切なこと ―

諏訪清陵高校1年　渡辺　小遥（こはる）さん



私は昔から「周りと少し違う子」と言われることがあり、「私なんて」が口癖になってしまっていました。しかし、ホストシスターが周囲を気にせず大好きな趣味に没頭し、大好きなヘヴィメタルを熱唱している姿がとてもかっこよく、「自分らしくいても大丈夫なんだ」と前を向く勇気をもらいました。交流事業を通じて、自分の個性を前向きに受け入れ、互いの違いを認め合う大切さを学びました。



ロングモント市での気づき　― 挨拶から生まれる人とのつながり ―

永明中学校2年　櫻井　望夢（のぞむ）さん

アメリカでは初めて会う人にも“Hi”と声をかけたり、そのあとに“How are you?”と聞き合います。ただ挨拶するだけでなく、相手の会話を広げようとしているのが印象的でした。また、英語がうまく話せなくても笑顔やジェスチャーを使うことで気持ちを伝え合うことができると分かり、大切なのは自分から話しかける勇気だと感じました。

茅野から世界へ！ 子どもたちが学んだ心の通わせ方

子どもたちが異文化体験で育んだのは英語力だけでなく、**「違いを認め相手を思いやる力」**でした。彼らの姿から、身近な人に寄り添う力だと気づかされます。出払いや地域行事など支え合いで成り立つ茅野市だからこそ、この優しい視点が欠かせません。派遣で得た広い視野を自らの地域で活かし、人と人をつなぐ存在へ。それこそがこの事業がもたらす最大の財産です。





1


3


5


2


4

1_ ボルダー郡フェアパレードへ参加　2_ たくさんの“心友”　3_ コロラド・ロッキーズの試合を観戦　4_ コロラド州会議事堂にて　5_ ホストファミリーが開いてくれた誕生日パーティー

9/10に開催した報告会の様子を動画で公開中！

交流の様子は市のホームページから！

問 生涯学習課　生涯学習係
☎72-2101（内線635）